令和７年度 事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

特定非営利活動法人ＯＷＳ

１．事業の成果

(1) 環境教育事業（ネイチャースクール・海辺の自然教室）

子ども及び親子を対象とした海辺の自然体験学習プログラムを神奈川県三浦市の磯、干潟、砂浜において、2回実施し、37名の児童・保護者と教員3名が参加した。生き物観察では、身近な海辺の自然と多様な生き物に触れ合って学びを深め、城ヶ島では、海岸漂着ごみの回収活動を体験した。

a.6月28日「磯浜の生きもの観察＆ごみ回収活動」（城ヶ島海岸）
参加者：26名　一般募集小学生3年～6年生親子・日本大学グループ

b.7月26日「磯の生き物観察＆クラフト教室」（高抜海岸と南下浦小学校教室）
参加者：11名　南下浦小学校の小学生3年～6年生

(2) 普及啓発事業

a.会報の発行

「季刊 エブオブ」を4回発行し、以下の特集記事等を掲載し、合計6,000部を配布した。

①第97号 5月20日発行：特集「地球温暖化が魚類に与える影響 」
執筆：[redacted]

②第98号 8月20日発行：特集「ブルーカーボン研究と社会実装の現状」
執筆：[redacted]

③第99号 11月20日発行：特集「三陸沖でいま、何が起きているのか」～世界で最も水温が上昇した海の現場から～
執筆：[redacted]

④第100号 2月20日発行：特集「会報・季刊エブオブ100号記念鼎談」（創刊から100号を達成した）
鼎談：[redacted]
サブ特集「対馬での海洋ごみ問題への取り組み」執筆 [redacted]

b.対馬市の海洋プラスチックごみの実態調査と情報発信

対馬市豊玉町の志多浦地区のサンゴ礁周辺に沈んだ滞留ごみ及び佐保地区の陸路の無い海岸に漂着した大量のプラスチックごみの実態について、WEB、SNS、会報、クラウドファンディングによる情報発信を通じて広く発信した。また、対馬市が運営するグローカル大学において2026年2月18日にWEB講義を行い、回収の実践活動の様子を解説した。なお、この活動にはOWSとして初めてのクラウドファンディングに挑戦し、全国から190名の皆さんから寄付による支援を受けた。

c.海洋ごみ回収活動への支援

ミクロネシアのパラオ共和国ゲロブロバン海岸と神奈川県三浦市城ケ島において、OWSのメンバーが中心となって行った以下の海洋ごみ回収活動を協賛して支援した。

①6月18日　パラオダイビング協会への活動支援（海岸漂着ごみ回収：12名参加、808kg回収）

②6月28日　ダイビングショップ「アースサウンド」への活動支援（水中釣り具回収：8名参加）

d.「海洋ごみプロジェクト2025」として、以下の活動を実施し、海洋ごみの削減に関する普及啓発活動を実施した。

①海洋ごみ写真資料展「海洋ごみについて考えよう」を東京、名古屋、青森の3会場で開催し、延べ9,282名が入場・鑑賞した。また、各会場において海洋ごみ削減の普及啓発チラシを1,000枚配布した。

②10月14日　環境省が主催した「海洋プラスチック汚染対策に関するシンポジウム」にブース出展

した。

③NPO・NGO14団体で構成する「減プラスチック社会を実現するNGOネットワーク」の活動として、2025年12月8日、「人工芝化の規制についての公開書簡」を文科大臣に、「人工芝の生産や流通を遅くとも2030 年までに原則禁止することを求める公開書簡を経済産業大臣及び環境大臣に提出した。この書簡提出は、マイクロプラスチックによる健康障害の事例が多数報告されていることを受け、14団体に加えて135団体が賛同し、連名での提出を行った。

e.海鳥保全活動

絶滅危惧海鳥類の保全を普及啓発する「世界アルバトロスデー＆シーバードウィーク」実行委員会（環境保護6団体で構成・代表：[redacted]）の運営事務局を担当した。6月15日には、都立東京港野鳥公園ネイチャーセンターにおいて、6名の講演者による対面及びオンラインによる講演会を実施し、101名が参加した。また、6月15日～7月7日の期間に同所において実施した企画展示には970名が来場し、展示を鑑賞した。

(3) 調査研究事業

a.干潟ベントス調査

①6月14日　第14回江奈湾干潟ベントス調査・神奈川県三浦市
4大学の研究者や地元学校教員ら42名が参加し、30種を越える新規出現種を確認・記録した。

②7月11日・13日　第9回ゆかし潟干潟ベントス調査・和歌山県那智勝浦町
研究者や地元中学・高校教員を含む9名が参加し、複数の新規出現種を確認・記録した。

③7月12日　ゆかし潟の関連干潟調査として那智勝浦町・太田川河口干潟において、初めてのベントス調査を実施した。研究者や地元中学・高校教員を含む9名が参加し、24種の希少種を含む70種を越える出現種を確認・記録した。調査で確認したシオマネキは南紀地方の初記録種として、学術誌「南紀生物」に短報を発表した。

b.造礁サンゴ探索調査（分布北限調査）

4月20日～21日、[redacted]との連携調査として、新潟県佐渡市琴浦海岸において、8名が参加して造礁サンゴの探索調査を実施した。調査の結果、キクメイシモドキ20群体を確認し、位置情報を計測・記録し、水温計を設置した。

c.造礁サンゴモニタリング調査&魚類調査

国立環境研究所との連携調査として、全国10海域での造礁サンゴモニタリング調査及び魚類調査を実施し、延べ39名が参加した。

①10月08日　熊本県天草市牛深
②10月16日　和歌山県串本町
③10月28日　千葉県館山市沖ノ島
④10月29日　千葉県館山市坂田
⑤11月16日　長崎県対馬市志多浦
⑥11月18日　長崎県壱岐市郷ノ浦
⑦11月25日　静岡県西伊豆町安良里
⑧11月26日　静岡県西伊豆町田子
⑨12月09日～10日　長崎県五島市福江
⑩01月21日　高知県土佐清水市竜串

(4) 環境保全事業

a.三浦市の漂着ごみ・投棄ごみの回収活動

神奈川県三浦市の江奈湾干潟及び近隣海岸で4回の漂着・投棄ごみの回収活動を実施し、40名が参加して545kgの漂着・投棄ごみを回収した。江奈湾干潟での回収活動は、今年度で53回を数え、総回収量は、11.5ｔに達し、OWSが発見・通報して4年がかりの撤去要請で神奈川県による撤去が実現した40tの違法投棄ごみと合わせると51.5tの回収が完了した。

①6月28日　三浦市・城ケ島　40kg
②9月07日　三浦市・江奈湾東干潟　108kg

③2月21日　三浦市・江奈湾西干潟　252kg
④3月20日　三浦市・江奈湾東干潟　145kg

b. 対馬市の陸路の無い海岸の漂着プラスチックごみ回収活動
長崎県対馬市豊玉町佐保地区の陸路の無いパヤノ浜に漂着した大量のプラスチックごみを2日間に渡ってクレーン作業船と小型船2艘、クレーン車等を使っての回収活動を実施した。活動には地元協力者10名を含め延べ43名が参加し、1ｔフレコンバック113袋のプラスチックごみを回収した。回収活動後の海岸は年間を通じてモニタリングし、今後の活動計画に活用する。

２．事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業　（事業費の総費用【11,601】千円）

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（千円）
環境教育事業	子供対象「ネイチャースクール」の開催	6月28日	神奈川	6名	市民・児童40名	906
	親子及び大人対象「海辺の自然教室」の開催	7月26日				
普及啓発事業	会報「季刊 エブオブ」発行及び配布	年4回	全国	5名	会員/市民6,000名	3,112
	対馬市の海岸漂着ごみ、水中ごみの実態についての情報発信	9月～11月	全国	8名	市民/自治体5,000名	
	海洋ごみ回収活動への支援（海外・国内）	7月～11月	パラオ三浦市	3名	市民/自治体1,000名	
	海洋ごみ写真資料展の開催	7月～11月	全国	2名	市民/自治体9,300名	
	海洋プラスチック汚染対策シンポジウム参加	10月14日	東京	2名	企業/政府200人	
	減プラスチック社会を実現するNGOネットワークによる文科、経産、環境大臣に公開書簡提出	11月～2月	全国	2名	市民10,000名	
	世界アルバトロスデー&シーバードウィーク事務局運営・サイト制作及びイベント開催	3月～7月	東京	3名	市民1,200名	
調査研究事業	江奈湾干潟ベントス調査	6月	神奈川	5名	市民/自治体100名	5,388
	ゆかし潟干潟ベントス調査	7月	和歌山	3名	市民/自治体100名	
	造礁サンゴ探索調査（分布北限調査）	7月	新潟	5名	市民/自治体100名	
	造礁サンゴモニタリング調査&魚類調査	10月～1月	全国10海域	5名	市民/自治体1,000名	

環境保全事業	江奈湾干潟及び城ヶ島海岸でのごみ回収	6月～3月	神奈川	6名	市民/自治体500名	2,193
	対馬市の陸路の無い海岸の漂着ごみ回収	11月	長崎	8名	市民/自治体1,000名	

(2) その他の事業　なし

令和７年度　活動計算書

令和７年４月１日から令和８年３月３１日まで

特定非営利活動法人OWS

科　目	金　額（単位:円）		
Ⅰ　経常収益			
1　受取会費			
正会員会費	509,000		
個人賛助会員会費	610,000		
法人賛助会員会費	50,000	1,169,000	
2　事業収益			
環境教育事業	3,000		
普及啓発事業	250,670		
調査研究事業	4,899,880		
環境保全事業	6,250	5,159,800	
3　受取寄附金			
受取寄附金	7,084,502	7,084,502	
4　その他収益			
受取利息	13,306	15,306	
雑収入	2,000		
経常収益計(A)			13,428,608
Ⅱ　経常費用			
1　事業費			
環境教育事業	906,960		
普及啓発事業	3,112,310		
調査研究事業	5,388,524		
環境保全事業	2,193,813		
事業費計		11,601,607	
2　管理費			
給料手当	1,470,000		
法定福利費	124,046		
発送配達費	8,278		
通信費	101,162		
水道光熱費	78,108		
消耗品費	68,389		
地代家賃	1,080,000		
保険料	79,500		
租税公課	102,820		
諸会費	10,000		
支払手数料	71,124		
旅費交通費	42,603		
通勤費	67,530		
会議費	25,793		
雑費	150		
支払報酬料	55,000		
管理費計		3,384,503	
経常費用計(B)			14,986,110
税引前当期経常増減額(A)－(B)			-1,557,502
前期繰越正味財産額			10,600,676
次期繰越収支差額			9,043,174

令和７年度　貸借対照表

令和８年３月３１日現在

特定非営利活動法人OWS

科目	金額（単位:円）		
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
立替金	60,000		
前払費用	231,564		
現金及び預金	8,890,479		
流動資産合計		9,182,043	
資産合計			9,182,043
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	36,472		
預り金	102,397		
流動負債合計		138,869	
負債合計			138,869
Ⅲ 正味財産の部			
基本金		10,600,676	
当期正味財産増加額		-1,557,502	
正味財産合計			9,043,174
負債及び正味財産合計			9,182,043

令和７年度　財産目録

令和８年３月３１日現在

特定非営利活動法人OWS

科目・摘要		金額(単位:円)		
Ⅰ　資産の部				
1 流動資産				
現金預金				
現金		29,440		
普通預金 三菱UFJ銀行 新宿新都心支店		8,385,047		
普通預金 GMOあおぞら銀行 法人営業部		296,992		
郵便貯金 代々木駅前通り郵便局		179,000		
立替金		60,000		
前払費用		231,564		
	流動資産合計		9,182,043	
	資産合計			9,182,043
Ⅱ　負債の部				
1 流動負債				
未払金		36,472		
預り金				
源泉所得税		67,967		
社会保険料		34,430		
	流動負債合計		138,869	
	負債合計			138,869
Ⅲ　正味財産				9,043,174

令和7年度　年間役員名簿

令和７年４月１日から令和８年３月３１日まで

特定非営利活動法人OWS

	役名	氏名	[redacted]	就任期間	報酬を受けた期間
1	理事	横山耕作		令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年 月　日
2	理事	高砂淳二		令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年 月　日
3	理事	宮川貴子		令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年 月　日
4	理事	森紀子		令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年 月　日
5	理事	杉森雄幸		令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年 月　日
6	理事	池上喜代壱		令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年 月　日
7	監事	福田秀人		令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年 月　日

令和7年度　社員のうち10人以上の者の名簿

令和８年３月３１日現在

特定非営利活動法人OWS

	氏名	[redacted]
1	横山耕作	
2	高砂淳二	
3	宮川貴子	
4	森紀子	
5	杉森雄幸	
6	池上喜代壱	
7	仲　祐介	
8	小川修作	
9	矢田誠	
10	福田秀人	